

柳田雜記（11）

「北朝鮮」について



今日 2017 年 5 月 13 日、アジア新時代研究会主催の佐々木道博さんの朝鮮最新情勢講演会があった

た。北朝鮮のミサイルがいかに優れているかの話であった。北朝鮮礼賛の話で聴衆もまた同じだった。

私は北朝鮮がミサイルを打ち上げるのをあたかも犯罪のように騒ぎ立てる政府与党やマスコミには全くナンセンスだとおもっている。アメリカをはじめ日本やその他の先進国はしょっちゅうミサイルを打ち上げている。ミサイルを打ち上げるのはその国の権利である。北朝鮮のミサイルが優れているのは結構なことだ。

しかし金正恩体制はおかしい。金正男氏暗殺を佐々木氏はCIAの仕業だという。マレーシア政府が実行犯をとらえ彼等をうごかした北朝鮮大使館の数人を国外追放している。マレーシーはどことも利害関係はない。自国内で発生した殺人事件を調べているだけだ。これをCIAの手口だと言うのは強弁だ。

質問もした。金正恩が登場すると必ずそばに胸にいっぱいの勲章をつけた将軍たちがいならぶ。異常な光景だ。

それにマルクスもレーニンも社会主義の定義として位階制の廃止を述べている、おそらく初期の赤軍は指揮官も兵士も赤い星一つの帽子を被っていたはずだ。この一つの事実からも北朝鮮は社会主義ではない。

それに歴代書記長はすべて金一家である。金王朝といったほうがふさわしい。こんなことはあのスターリンでさえやらなかった。毛沢東のむすこは朝鮮戦争で戦死した。カストロも。

ホーチミンも息子に書記長を継がせていない。

拉致問題にしてもまったくもってナンセンスだ。百害あって一利なし。何の意味もないのにあんなことをやっている。安倍をはじめ日本の支配層を喜ばせるだけだ。

2017.5.14 柳田 健